

アジで 保坂区長の2期選挙公約検証

1 期目の3大実績①基本構想をまとめた②子ども予算を2倍③借金ゼロのトホホ

ここでは、2期目の区長選にあたって1期目の実績について分析。簡単に言えば、「基本構想をまとめる」というのは4割の反対を放置しての「強行採決」。少しもまとめていない、「子ども予算を10年前の倍」というのも直前まで予算を大幅にカットしていた事実を伏せて選挙前に急ぎょ熊本区政なみに増やしたということ。「22年ぶり借金ゼロ」というのは単なる数字操作で「借金」の先送りに過ぎません。

議会とは車の行政
と言いつながら
一輪車 走行の
保坂区長！

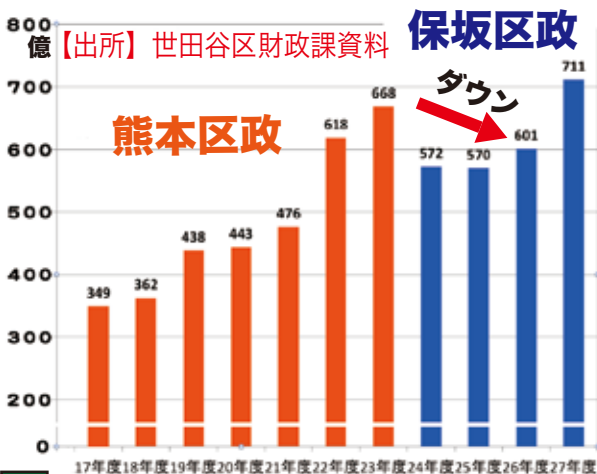
①基本構想をまとめる？

突然、選挙公報に1期目の実績として、「基本構想をまとめる」と書かれても、何のこっちゃ？と思いますが、基本構想とは、自治体経営として、場当たりのにならないように、長期展望（今後20年くらいを想定）を定めるもので平成25年9月に議決されました●通常、全員賛成に近い形でまとめるものです。しかし当時の議決結果は、反対4割、賛成6割とで、とても「まとめる」と云ったものではなく、保坂流では「強行採決」と言ってもいいくらいです●結果、5年たった現在、基本構想そっちのけの「場当たり行政」との批判が起こっています●当時の私は、区民アンケートで8割の区民が知らない「基本構想」は保坂区長の目指す「区民参加」と違うのではないかと反対しました。

【出所】平成25年9月27・本会議議事録

②子ども予算を10年前の倍？

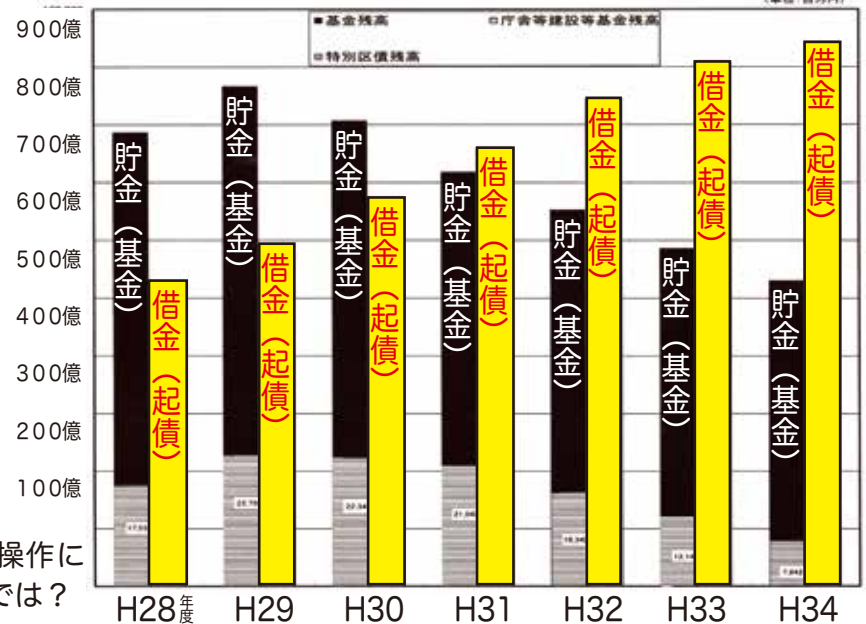
この公約を発表したのは平成27年度予算成立後、下のグラフでは一番右端の青い棒グラフの部分です。その10年前というのは一番左端の赤い棒グラフです●確かに、この時点で「子ども予算」を10年前の倍！と公言してもウソではありません●349億円から711億円にしたのは事実です。しかし保坂区政になってから「子ども予算」は「ダウン」していたのです●青棒が保坂区政になってからの部分です。この保坂区政、最初の3年の「ダウン」が、保育待機児ワーストの原因につながるのです●この3年の遅れが保育行政を苦しめることになるのです。データはウソをつきません●このことに触れずいきなり10前と比較するのは、いかがなものでしょう。



③22年ぶりに「借金ゼロ」？

右は昨年末に公表された年度ごとの「貯金と借金」の額です。確かに、保坂区長の公約時（平成27年度）から貯金が上回り、（右表はH28年度から）実質上、借金ゼロの状態になりました●しかし来年（平成31年度）以降、借金が増大し5年ぶりに「借金超過」にもどってしまいます●従って、一時的な「借金ゼロ」などというのは、見せかけの数字操作に過ぎない選挙対策だったのでは？

(5) 特別区債と基金の年度末残高見込み 出所「世田谷区の財政状況」平成30年11月版



なぜ今後、借金は増大するのか？

●そもそもなぜ借金は増大するのでしょうか？それは公共施設の多さにあります。公共施設の老朽化（建て替え）の時期に入からです。人口91万。世田谷区には区立小中学校だけで90校（小61、中29）、1校あたりの改築費を約30億円として2700億円かかります●毎年1校ずつやれば、90年サイクルの改築となりますが現実的ではありません●また公共施設は多世代（約40年～60年）で利用しますから、建設費を一括で払うと、その年度だけ負担が重くなるので、やっていけません●これはマイホームローンと同じで、全額現金で払うより予算を多分野で使えるからです●いわゆる何十年型ローンになります。従って施設が増えれば、ローンの母数は増大します●そのことを踏まえて、これまで小中学校は年2校ペースで取り組んでいましたがリーマンショックで財政的な見通しがつかなくなり止まりました●小中学校で平成に入って改築したのはわずか21校、残り69校はその多くが昭和30年、40年代の建築のままです●公共施設は区立小中学校に限りません。他にも区立保育園50園、図書館21館、区民会館、区民センター、庁舎等々と公園トイレ等も含めると建物だけでも880以上の施設があります。

区長の仕事とは・・・

●結局、多くの施設の老朽化対策費の先送り、貯金を増やし、借金を減らす最大の理由だったのです●しかし先送りも限度、老朽化は待ってくれません。さらに体育館のエアコン設置も迫られます●保坂区長の「22年ぶりの借金ゼロ（貯金が借金を上回る）」は実は区長としての仕事しませんでしたという事を物語っているのです。

保坂区長が激務のワケ

●区長が激務なのは私的なものを含めてのシンポジウム等の出席・開催にあります。出席といっても単なる挨拶ではありません●事前に準備するなどのメインスピーカー的立場で臨んでいるのが多数です●しかも直接的に区政と関連のないものもあり、いまだに国会議員気分なのです。



平成	区主催	その他	合計
27年度	55回	31回	86回
28年度	27回	39回	66回
29年度	21回	34回	55回

【出所】
区長室より
の情報公開

半世紀後の公約に？

わずか1年半で断念 世田谷総合支所の三軒茶屋移転公約

●2期目の選挙公約には「世田谷総合支所の三軒茶屋移転に着手」があります●現在の世田谷総合支所は本庁舎の隣り、国土館大学の横にあります●ちなみに総合支所とは世田谷区を5つに分け、地域行政の拠点事務所のことです。世田谷、砧、玉川、北沢、烏山に5つの総合支所があります●その中で、世田谷総合支所だけがJRと接続しない鉄道駅（東急世田谷線・松陰神社前駅）近くにあり、交通アクセスの問題が地域の声としてありました●その声をすくいあげる魅力的な公約です●しかし、2期目が始まってみると、この公約が保坂区長の勝手な「未来予想図」だったことが判明します●情報公開で調べてみると2期目の当選から1年3ヶ月後の平成28年8月10日の政策会議（区役所の意思決定機関）で「世田谷総合支所は移転しないで整備する」と決定しているのです●要は土地がなかったということですが、そもそもが無責任な公約だったのです●しかも、保坂区長がこの公約反故について認めたのはさらに1年後の平成29年9月21日の答弁「世田谷総合支所の移転をすぐに行われるというふうには受けとめた皆さまには大変申しわけなく思っています」●今回、同じ敷地に建て直すのですから移転は、次の老朽化を迎える半世紀先の話です●都合の悪いことは聞かれるまで答えない、というのも区長としてどうでしょう？

